

所属	機械工学科	職名	准教授	氏名	小林 義和	記載年月日 (和暦)	平成28年9月29日
<b>I 主な教育活動</b>							
I-1 教育実践上の主な業績(過去3年)							
(平成22年度)平成22年度東北地区高等専門学校教員研究会発表:「エンジニアリングデザイン教育を目指した全学的なもののづくり教育の取り組み」							
I-2 クラブ指導における主な業績(過去3年)							
(平成27年度)第28回アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2015東北地区大会 準優勝&ベスト4 全国大会出場							
(平成26年度)第27回アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2014東北地区大会 準優勝&ベスト4							
(平成25年度)第26回アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2013東北地区大会 ベスト4							
I-3 その他の該当事項(過去3年)							
(平成27年度) 秋田大学 工学資源学部 材料工学科「製図基礎」非常勤講師							
(平成26年度)夢と希望を乗せてアイデア対決2014秋田県中学校ロボットコンテスト 競技委員、秋田大学 工学資源学部 材料工学科「製図基礎」非常勤講師							
(平成25年度)夢と希望を乗せてアイデア対決2013秋田県中学校ロボットコンテスト 競技委員長、秋田大学 工学資源学部 材料工学科「製図基礎」非常勤講師							
I-4 校務担当(該当年度も含め過去3年)							
(平成26年度)3M学級担任							
(平成27年度)留学生指導教員、地共同テクノセンター専門委員							
(平成28年度)留学生指導教員、情報処理運営委員会委員							
I-5 担当クラブ等(該当年度も含め過去3年)							
(平成26年度)ロボットコンテスト、山岳部							
(平成27年度)ロボットコンテスト、山岳部							
(平成28年度)ロボットコンテスト、山岳部							
<b>II 主な研究活動(著書・論文等の名称)(過去7年以上、専攻科様式第5号形式とする)</b>							
著書・論文等の名称	単著 共著	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名(共著のみ)			
<b>II-1 (学位論文)</b>							
1. 深海底鉱物資源採掘用揚鉱管の縦振動の制御(博士論文)	単著	平成12年3月	秋田大学				
2. 非線形ばね支持による揚鉱管の縦振動の抑制(修士論文)	単著	平成9年3月	秋田大学				
<b>II-2 (著書)</b>							
<b>II-3 (学術論文)</b>							
円筒深絞り成形の耳の解析	共著	平成25年5月	日本機械学会論文集A編、79-801,2013,595-608.	大上哲郎, 佐藤和樹, 小林義和			
全学的なもののづくり導入教育の取り組み	共著	平成23年7月	日本高専学会誌、16-3,2011,159-164.	小林義和, 西野智路, 松田英昭			
ロボットコンテストを通じたものづくり教育	共著	平成20年11月	工学教育、56-6、2008、90-95	西野智路, 小林義和, 松田英昭			
Optimal Condition of Vibration Absorber Used in Calm Water (Comprehensive Study by Quasi-Newton Method)	共著	平成15年5月	Proceedings of 13th International Offshore and Polar Engineering Conference ISOPE, Honolulu, Hawaii, USA, Vol. II, 2003, 113-119.	Kobayashi, Y., Aso, K., Masaki, K., Shibuya, Y. and Takahashi, M.			
Active Control of Longitudinal Vibration and Axial Stress Caused in Pipe String for Mining Manganese Nodules in Deep Sea with Elastic support	共著	平成11年5月	Proceedings of 9th international Offshore and Polar Engineering Conference ISOPE, Brest, France, Vol. II, 1999, 278-285	Kobayashi, Y., Obinata, G. and Aso, K.			
水中動吸振器の最適条件	共著	平成11年2月	日本機械学会論文集C編、65-630, 1999, 544-550.	小林義和, 麻生和夫, 大日方五郎			
弾性支持と動吸振器によるマンガング塊採掘用揚鉱管の縦振動の抑制	共著	平成11年1月	日本機械学会論文集C編、65-629, 1999, 61-67.	小林義和, 麻生和夫, 大日方五郎			
The Optimum Condition of Vibration Absorber Used in Water	共著	平成10年5月	Proceedings of 8th international Offshore and Polar Engineering Conference ISOPE, Montreal, Canada, Vol. II, 1998, 214-219.	Aso, K. and Kobayashi, Y.			
弾性支持によるマンガング塊採掘用揚鉱管の縦振動の抑制	共著	平成10年3月	日本機械学会論文集C編、64-619, 1998, 797-803.	小林義和, 麻生和夫			
Longitudinal Vibration-Control of Pipe String for Mining Manganese Nodules in Deep Sea with Elastic support	共著	平成9年5月	Proceedings of 7th International Offshore and Polar Engineering Conference ISOPE, Honolulu, Hawaii, USA, Vol. I, 1997, 128-135.	Kobayashi, Y. and Aso, K			
<b>II-4 (研究紀要)</b>							
秋田高専におけるロボットコンテストの取り組みと課題第3報: ロボコン活動と地域イベントへの協力	共著	平成25年2月	秋田工業高等専門学校研究紀要、第48号、2013、34-39.	田中将樹, 西野智路, 小林義和, 松尾幸二郎, 辻尚史, 新井場貴寛			
下肢障害者のための車いす用FESサイクリングユニットの開発	共著	平成24年2月	秋田工業高等専門学校研究紀要、第47号、2012、23-30.	鎌田大地, 小林義和			
秋田高専におけるロボットコンテストの取り組みと課題第2報: 二足歩行ロボットの改良と活動体制の強化	共著	平成24年2月	秋田工業高等専門学校研究紀要、第47号、2012、31-37.	小林義和, 西野智路, 田中将樹, 増田周平, 岡部克利, 辻尚史			
付加ばねを用いた可変ばねによる振動低減	共著	平成23年2月	秋田工業高等専門学校研究紀要、第46号、2011、46-51.	大山祐也, 小林義和			

秋田高専におけるロボットコンテストの取り組みと課題	共著	平成23年2月	秋田工業高等専門学校研究紀要、第46号、2011、90-94.	西野智路, 小林義和, 田中将樹
可変ばねによる振動低減	共著	平成22年2月	秋田工業高等専門学校研究紀要、第45号、2010、42-48.	渡邊恭平, 小林義和
遺伝的アルゴリズムを用いた非線形振動系の解析	共著	平成22年2月	秋田工業高等専門学校研究紀要、第45号、2010、49-55.	渡部雄二, 小林義和
水中動吸振器の設計条件に関する研究	共著	平成20年2月	秋田工業高等専門学校研究紀要、第43号、2008、50-57.	藤原太陽, 小林義和
ロボットコンテストを通じた地域貢献	共著	平成20年2月	秋田工業高等専門学校研究紀要、第43号、2008、44-49.	小林義和, 松田英昭, 藤田昂志
水中振動システムの最適設計に関する研究	共著	平成17年2月	秋田工業高等専門学校研究紀要、第40号、2005、31-38.	正木寿幸, 小林義和
II-5 (国際学会等発表) 予稿集, 会議論文集があれば付記のこと				
Joint research by NUT and NIT to create regional premium brands through Tri-institutional cooperation	共著	平成27年6月	4th international GIGAKU Conference in Nagaoka(IGCN2015), June 19-21, 2015, Nagaoka, (presentation will be scheduled)	Yoshikazu Kobayashi, Shigekazu Suzuki, Yuichi Tanaka, Ryoichi Chiba and Shigeru Nagasawa
Analysis of earring in circular-shell deep-drawing of bcc and hcp sheet metals	共著	平成26年10月	11th international Conference on Technology of Plasticity ICTP 2014, Oct. 19-24, 2014, Nagoya. Procedia Engineering 81(2014)887-892.	Tetsuro Ohwue and Yoshikazu Kobayashi
Analysis of Earring in Circular-shell Deep-drawing Test	共著	平成25年11月	The proceeding s of the 64th Japanese Joint Conference for the Technology of Plasticity, JSTP, Osaka, pp.327-328.(2013.11)	Tetsuro Ohwue and Yoshikazu Kobayashi
Engineering Education of Robocon Students at a National College of Technology through plnning Robot Contests for Junior High Schools	共著	平成25年9月	Proceedings of 7th International Symposium on Advances in Technology Education, ISATE, Nara, Japan, 2013, pp. 61.(2013.9)	Yoshikazu Kobayashi and Tomomichi Nishino
Improving Computer Programming Education for Using Gamification	共著	平成25年9月	Proceedings of 7th International Symposium on Advances in Technology Education, ISATE, Nara, Japan, 2013, pp. 62.(2013.9)	Tomomichi Nishino and Yoshikazu Kobayashi
Engineering Education through Office Hours for Manufacturing(Monodukuri Office Hour)	共著	平成24年9月	Proceedings of 6th International Symposium on Advances in Technology Education, ISATE, Kitakyusyu, Japan, 2012, pp. 66.(2012.9)	Yoshikazu Kobayashi and Tomomichi Nishino
Improving Drawing Education for Applied Chemistry Students	共著	平成24年9月	Proceedings of 6th International Symposium on Advances in Technology Education, ISATE, Kitakyusyu, Japan, 2012, pp. 62.,(2012.9)	Tomomichi Nishino and Yoshikazu Kobayashi
II-6 (国内学会等発表)				
スポーツ自転車サドル高さが下肢関節モーメントと筋電に及ぼす影響	共著	平成28年11月	日本機械学会シンポジウム: スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス2016、山形、(講演予定)	三浦裕介、児嶋良太、小林義和、巖見武裕
障害者用自転車のクランク高さが下肢関節モーメントと筋電に及ぼす影響	共著	平成28年11月	日本機械学会シンポジウム: スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス2016、山形、(講演予定)	草階彬、小玉翔太、小林義和、巖見武裕、畠山和利、島田洋一
IMUを用いた膝関節動作計測に関する研究	共著	平成28年9月	日本機械学会東北支部第52秋季講演会講演論文集 USB、秋田、2016、409.(2016.9)	小松瞭、八木宏夫、巖見武裕、小林義和、齊藤公男、畠山和利、齊藤英知、松永俊樹、島田洋一
機能的電気刺激による電気刺激運動を誘発する刺激タイミング装置の開発と代謝効率評価	共著	平成28年9月	日本機械学会東北支部第52秋季講演会講演論文集 USB、秋田、2016、408.(2016.9)	松森江靖、村岡拓、巖見武裕、小林義和、岩本陽輔、畠山和利、高橋裕介、松永俊樹、島田洋一
スポーツ自転車サドル高さが下肢関節モーメントに及ぼす影響(ペダリング動作の検討)	共著	平成28年9月	日本機械学会東北支部第52秋季講演会講演論文集 USB、秋田、2016、406.(2016.9)	児嶋良太、三浦裕介、小林義和
FESサイクリングの乗車姿勢が下肢関節モーメントに及ぼす影響	共著	平成28年9月	日本機械学会東北支部第52秋季講演会講演論文集 USB、秋田、2016、407.(2016.9)	水澤駿介、小玉翔太、草階彬、Sam Moukoka、小林義和、巖見武裕、島田洋一
FESサイクリングによる運動時における代謝効率の比較実験	共著	平成28年8月	日本リハビリテーション工学協会第31回リハ工学カンファレンスinこうち抄録集、高知、2016、27-6-2.(2016.8)	松森江靖、村岡拓、巖見武裕、小林義和、岩本陽輔、畠山和利、高橋裕介、松永俊樹、島田洋一
3種類の車いす取り付け型自転車の比較(健常被験者による比較と屋外走行実験)	共著	平成28年8月	日本リハビリテーション工学協会第31回リハ工学カンファレンスinこうち抄録集、高知、2016、26-6-1.(2016.8)	小玉翔太、小林義和、松森江靖、巖見武裕、島田洋一
6軸型自転車用ペダルセンサの性能評価	共著	平成28年3月	日本機械学会東北学生会第46回卒業研究発表講演会講演論文集、福島、2016、pp98-99.(2016.3)	草階彬、赤田慎幸、小松瞭、小林義和
スポーツ自転車サドル高さが下肢関節モーメントに及ぼす効果	共著	平成28年3月	日本機械学会東北学生会第46回卒業研究発表講演会講演論文集、福島、2016、pp100-101.(2016.3)	三浦裕介、佐々木祐樹、渡部雄二、小林義和
障害者用自転車のペダル高さが下肢関節モーメントに及ぼす影響(健常者による検討)	共著	平成28年3月	日本機械学会東北学生会第46回卒業研究発表講演会講演論文集、福島、2016、pp102-103.(2016.3)	小玉翔太、白幡勇気、水澤駿介、松森江靖、小林義和、巖見武裕、島田洋一
機能的電気刺激を使用したサイクリング運動による代謝効率の評価	共著	平成28年1月	日本機械学会第28回バイオエンジニアリング講演会、2016、東京、1F23.(2016.1)	松森江靖、巖見武裕、小林義和、畠山和利、高橋裕介、松永俊樹、島田洋一
健常者によるFESサイクリングの乗車ポジション評価(6軸型ペダルセンサによる検討)	共著	平成28年1月	日本機械学会第28回バイオエンジニアリング講演会、2016、東京、1F24.(2016.1)	小玉翔太、草階彬、小林義和、巖見武裕、松森江靖、島田洋一
2軸加速度センサを用いた姿勢制御回路とプログラムの開発	共著	平成27年11月	慣性センサ応用技術研究協会第3回定期講演会・展示会(2015.11)東京	小林陽介、田中将樹、小林義和
自転車用6軸型ペダルセンサの開発と評価実験	共著	平成27年10月	日本機械学会シンポジウム: スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス2015、草津(滋賀)、C-13.(2015.10)	草階彬、赤田慎幸、Pezzsetta Samuele、小林義和、三浦裕介、巖見武裕

リカレント型FESサイクリングの乗車ポジション評価(健康者による屋内実験の場合)	共著	平成27年3月	日本機械学会東北学生会第45回卒業研究発表講演会講演論文集、八戸、2015,pp101-102.(2015.3)	桧森江靖、小林義和、巖見武裕、島田洋一
一般軽快車とスポーツ自転車の乗車ポジションによるパワー出力比較	共著	平成27年3月	日本機械学会東北学生会第45回卒業研究発表講演会講演論文集、八戸、2015,pp103-104.(2015.3)	小松瞭、小林義和、永澤茂、佐々木良太、鈴木涼介
一般軽快車のパワー出力に及ぼす乗車ポジションの効果ーペダル式パワーセンサーを用いた場合ー	共著	平成26年11月	平成26年度東北地区高等専門学校専攻科産学連携シンポジウム、仙台、T14-P2-06.	小松瞭、小林義和
一般軽快車の乗車ポジションが出力パワーに及ぼす影響	共著	平成26年10月	日本機械学会シンポジウム:スポーツアンドヒューマンダイナミクス2014、長岡、B-06(2014.10)	小松瞭、小林義和、巖見武裕、Franck Minet
真円ギアと楕円ギアを使用したFESによるサイクリング運動の比較	共著	平成26年10月	日本機械学会シンポジウム:スポーツアンドヒューマンダイナミクス2014、長岡、B-07(2014.10)	桧森江靖、小林義和、巖見武裕、山田晋、島田洋一
随意運動と電気刺激運動における代謝効率の比較実験	共著	平成26年10月	日本機械学会シンポジウム:スポーツアンドヒューマンダイナミクス2014、長岡、B-14(2014.10)	根本泰彰、巖見武裕、小林義和、柴田暢介、松永俊樹、島田洋一
技大ー高専による汎用FEMコードを使った力学協働教育	共著	平成26年8月	平成26年度全国高専教育フォーラム教育研究活動発表概要集、2014、金沢、440-441(2014.8).	田中裕一、鈴木茂和、千葉良一、小林義和、永澤茂
一般軽快自転車のサドル高さが出力パワーに及ぼす影響	共著	平成26年3月	日本機械学会東北学生会第44回卒業研究発表講演会講演論文集、米沢、2014、D-02,pp221-222.(2014.3)	小松瞭、小林義和、巖見武裕、宮脇和人、木澤 悟
FESサイクリングユニットの乗車ポジションが負荷とケイデンスに及ぼす影響	共著	平成26年3月	日本機械学会東北学生会第44回卒業研究発表講演会講演論文集、米沢、2014、D-05,pp225-226.(2014.3)	桧森江靖、小林義和、巖見武裕、宮脇和人、木澤 悟、島田洋一、門脇勇太
随意運動とFES運動の代謝効率の評価実験	共著	平成25年9月	第20回日本FES研究会学術講演会講演論文集、秋田、2014,pp25-26.(2014.2.9)	巖見武裕、若狭智瑛、根本泰彰、柴田暢介、小林義和、松永俊樹、島田洋一
クランク式パワーメータを用いたFESサイクリングの乗車ポジション評価	共著	平成25年8月	日本リハビリテーション工学協会第28回リハ工学カンファレンスinいわて抄録集CD-ROM、盛岡、2013、2B1-20.(2013.8)	桧森江靖、小林義和、巖見武裕、宮脇和人、木澤 悟、松永俊樹、島田洋一
アタッチメント型FESサイクリングユニットの開発と乗車ポジション評価	共著	平成25年3月	日本機械学会東北学生会第43回卒業研究発表講演会講演論文集、一関、2013,pp.115-116.(2013.3)	桧森江靖、大友康和、小林義和、巖見武裕、宮脇和人、木澤 悟、松永俊樹、島田洋一
ものづくりオフィスアワーを通じた技術者教育の取り組み	共著	平成24年11月	日本機械学会ー技術と社会の関連を巡って:過去から未来を訪ねるー講演論文集、秋田2012,pp.9-10.,(2012,11)	小林 義和、西野 智路
秋田高専におけるロボコン活動の取り組みと課題	共著	平成24年11月	日本機械学会ー技術と社会の関連を巡って:過去から未来を訪ねるー講演論文集、秋田、2012,pp7-8.,(2012.11)	嶋川 義幸、小林 義和、西野智路、田中 将樹、松尾 幸二郎、辻 尚史、新井場 貴寛
秋田高専における足こぎ車いす用接続ユニット部の開発と評価	共著	平成24年11月	日本機械学会ー技術と社会の関連を巡って:過去から未来を訪ねるー講演論文集、秋田、2012,pp.51-52.,(2012,11)	桧森 江靖、フツセ クトーネン、嶋川 義幸、高橋 昇平、シテイラジジャー、小林 義和、宮脇 和人
チタン薄板の円筒深絞りのシミュレーション	共著	平成24年9月	日本機械学会東北支部第48 期秋季講演会講演論文集、八戸、2012,pp154-155.(2012.9)	大上哲郎、佐藤和樹、小林義和、永澤茂
機能的電気刺激を用いた下肢駆動前輪ユニット車いすの開発と評価	共著	平成24年9月	日本機械学会東北支部第48 期秋季講演会講演論文集、八戸、2012,pp44-45.(2012.9)	大友康和、巖見武裕、小林義和、島田洋一、松永俊樹
車いす用FESサイクリングユニットの開発と評価	共著	平成24年3月	日本機械学会東北学生会第42回卒業研究発表講演会講演論文集、福島、2012、216-217.	鎌田大地、小林義和、巖見武裕、宮脇和人、秋山雄介、大友康和、松永俊樹、島田洋一
FES(機能的電気刺激)を用いた車いす用下肢駆動前輪ユニットの開発と評価	共著	平成23年5月	ロボティクス・メカトロニクス講演会2011講演論文集、2P2-B05.	鎌田大地、小林義和、巖見武裕、秋山雄介、伊藤洋平、鈴木博士、島田洋一、松永俊樹
秋田高専におけるロボットコンテストを通じた技術者教育	共著	平成23年5月	ロボティクス・メカトロニクス講演会2011講演論文集、DVD-ROM2A2-G03.	小林義和、西野智路、田中將樹
可変ばねによる振動低減(付加ばねを用いた検討)	共著	平成23年3月	日本機械学会東北学生会第41回学生員卒業研究発表講演会講演論文集、岩手、2011、172-173.	大山祐也、小林義和
全学的なものづくり教育の取り組み	共著	平成22年8月	日本工学教育協会平成22年度工学・工業教育研究講演会講演論文集、仙台、2010、196-197.	西野智路、小林義和、松田英昭
低学年を対象としたものづくり導入教育の取り組み	共著	平成22年8月	日本高専学会第16回年会講演会講演論文集、長岡、2010、17-18.	小林義和、西野智路、松田英昭
機能的電気刺激を用いた下肢駆動前輪ユニット車いすの開発	共著	平成22年10月	日本機械学会東北支部第46期秋季講演会講演論文集、秋田、2010、175-176.	秋山雄介、巖見武裕、小林義和、島田洋一、松永俊樹
遺伝的アルゴリズムを用いた非線形振動系の解析	共著	平成21年3月	日本機械学会東北学生会第39回学生員卒業研究発表講演会講演論文集、秋田、2009、155-156.	渡部雄二、小林義和
可変ばねを用いた振動低減(可変支持点を用いた可変ばねの検討)	共著	平成21年3月	日本機械学会東北学生会第39回学生員卒業研究発表講演会講演論文集、秋田、2009、149-150.	渡邊恭平、小林義和
加速度センサとジャイロセンサを用いた歩行周期検出	共著	平成20年8月	日本機械学会2008講演論文集、2008、No.08-23、365-367.	齊藤哲朗、巖見武裕、松永俊樹、島田洋一、木澤悟、小林義和
水中動吸振器の設計条件(解析と実験による検討)	共著	平成19年9月	Dynamics & Design Conference2007講演論文集、広島、2007、CD-ROM.	藤原太陽、横澤彰吾、渡部俊、小林義和
秋田高専におけるロボットコンテストに対する取り組み	共著	平成19年5月	ロボティクス・メカトロニクス講演会2007講演論文集、秋田、2007、DVD-ROM (2P1-E12)(ポスター発表)	小林義和、西野智路、松田英昭、藤田昂志

アルミニウム飲料缶壁の機械的性質が破裂挙動に及ぼす影響	共著	平成19年3月	東北学生会第37回学生員卒業研究発表講演会講演論文集、弘前、2007,7-8.	菅原一将、平岡峻也、鶴田淳人、山口正浩、藪 忠司、小林義和
アルミニウム飲料缶の破裂挙動に及ぼす缶壁特性の影響	共著	平成18年5月	軽金属学会第110回春期大会講演概要、北九州、2006,127-128.	鶴田淳人、小林義和、藪忠司
水中動吸振器の最適設計(解析と実験による検討)	共著	平成17年3月	東北学生会第35回学生員卒業研究発表講演会講演論文集、名取、2005,151-152.	正木寿幸、矢田部亮、小林義和
アルミニウム缶への缶胴突刺し条件が破裂挙動に及ぼす影響	共著	平成16年11月	軽金属学会第107回秋期大会講演概要、東京、2004,229-230.	鶴田淳人、小出政俊、小林義和、佐々木茂紘
水中動吸振器の最適条件(準ニュートン法による最適化)	共著	平成14年9月	Dynamics & Design Conference2002講演論文集、金沢、2002,CD-ROM.	小林義和、麻生和夫、渋谷嗣、高橋護
秋田高専機械工学科における情報処理教育の取り組み	共著	平成13年8月	第21回高等専門学校情報処理教育研究委員会発表会、秋田、2001,37-39	小林義和、伊藤 惇、木澤悟、今田良徳
II-7 (解説・総説)				
II-8 (特許)				
II-9 (その他)				
III 学内外の主な競争的資金の獲得(採択されたものに限る)(過去7年)				
III-1 競争的資金の名称				
(平成21年度)「新型車いすの開発」、(プロジェクト4A:秋田県)				
(平成22年度)共同研究「FESサイクルユニットの開発」、(ミナトエンジニアリング株式会社)				
(平成23年度)「FESサイクルユニットの設計支援」、(秋田高専校長裁量経費)				
(平成24年度)「FESサイクルのペダルポジション最適化に関する研究」、(秋田高専校長裁量経費)				
(平成25年度)「FESサイクルのペダルポジション最適化に関する研究」、(秋田高専校長裁量経費)				
(平成26年度)「下肢障害者のための車いす取り付け型サイクリングユニットの開発と評価」、(科学技術研究費15K059190001)(平成27~29年度)				
(平成27年度)「下肢障害者のための自転車ユニットを用いた筋電計測に関する研究」(平成28年度あきた未来創造研究事業(萌芽シーズ育成・連携促進事業))				
IV 学会等及び社会における主な活動				
IV-1 所属学会(記載時)				
日本機械学会、日本リハビリテーション工学協会、バイオメカニズム学会、日本高専学会				
IV-2 外部団体からの受賞および表彰(過去7年)				
IV-3 外部委員会の委員等(過去3年)				
(平成25年度)日本機械学会東北支部顧問教員				
(平成26年度)日本機械学会東北支部顧問教員、日本機械学会東北支部独創研究学生賞審査委員				
(平成27年度)日本機械学会東北支部顧問教員				
IV-4 その他の該当事項(過去7年)				
(平成22年度)秋田県サイクリング協会 理事、サイクルタウン推進協議会 理事				
(平成23年度)秋田県サイクリング協会 理事、サイクルタウン推進協議会 理事				
(平成24年度)秋田県サイクリング協会 理事、サイクルタウン推進協議会 理事				
(平成25年度)秋田県サイクリング協会 理事、サイクルタウン推進協議会 理事				
(平成26年度)秋田県サイクリング協会 監事、サイクルタウン推進協議会 理事				
(平成27年度)秋田県サイクリング協会 監事、サイクルタウン推進協議会 理事				
V 担当教科(該当年度を含め過去3年)				
V-1 専攻科(該当年度も含め過去3年)(生産:生産システム専攻、環境:環境システム専攻)と略記				
(平成26年度) 特別研究(専2生産指導教員)、生産システム工学特別実験(専1)				
(平成27年度) 特別研究(専1生産指導教員)、生産システム工学特別実験(専1)				
(平成28年度) 特別研究(専1生産指導教員)、特別研究(専2生産指導教員)、生産システム工学特別実験(専1)				
V-2 本科(該当年度も含め過去3年)(M:機械工学科、E:電気情報工学科、C:物質工学科、B:環境都市工学科)と略記				
(平成26年度)機械製図 I (1M)、情報処理 I (1M)、情報処理 II (2M)、工業力学(3M)、機械力学 I (4M)、機械力学 II (5M)、基礎研究(4M)、卒業研究(5M)、工学実験 I (4M)				
(平成27年度)情報処理 I (1M)、情報処理 II (2M)、工業力学(3M)、機械基礎(留学生)、機械力学 I (4M)、機械力学 II (5M)、基礎研究(4M)、卒業研究(5M)、工学実験 I (4M)				
(平成28年度)情報処理 I (1M)、情報処理 II (2M)、工業力学(3M)、機械基礎(留学生)、機械力学 I (4M)、機械力学 II、III (5M)、基礎研究(4M)、卒業研究(5M)、工学実験 I (4M)				